

## 会 議 録

会議名	令和3年度 第1回菊川市総合計画審議会
日 時	令和3年7月15日(木) 午後1時30分
場 所	菊川市役所 東館3階 E302、E303 会議室
出席者	総合計画審議会委員15名、市長、副市長、教育長、総務部長、危機管理部長、企画財政部長、生活環境部長、健康福祉部長、こども未来部長、建設経済部長、教育文化部長、消防長、企画政策課長、企画係
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 菊川市総合計画審議会委員紹介及び委嘱状の交付</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 菊川市総合計画審議会会長及び副会長の選出</li> <li>5 会長及び副会長あいさつ</li> <li>6 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和2年度 第2次菊川市総合計画進捗状況について</li> <li>(2) 第2期 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について(令和2年度版)</li> <li>(3) 第2次菊川市総合計画重点事業の見直しについて</li> </ol> </li> <li>7 その他(連絡事項)</li> <li>8 閉会</li> </ol>
議事要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会宣言</li> <li>・出席者数確認(15名中15名 会議成立)</li> <li>・資料確認</li> </ul> </li> <li>2 菊川市総合計画審議会委員紹介及び委嘱状の交付</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 菊川市総合計画審議会会長及び副会長の選出</li> <li>5 会長及び副会長あいさつ</li> <li>6 議 事 <p>事務局： それでは、これより議事に入ります。議事の進行につきましては、菊川市総合計画条例第17条によりまして、会長に議長をお願いいたします。</p> <p>会 長： それでは、菊川市総合計画条例第17条により議長を務めさせていただきます。本日の議題は、令和2年度第2次菊川市総合計画進捗状況について、2つ目が第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について、それから3つ目が、第2次菊</p> </li> </ol>

川市総合計画重点事業の見直しについての3つの議事になっております。議事1と議事2は進捗状況で関連がございますので、総合計画と総合戦略の進捗状況について事務局から説明していただきたいと思ひます。それではよろしくお願ひします。

≪事務局説明≫

【議事1 資料1-1・資料1-2・資料1-3・資料1-4】

【議事2 資料2】

会長： ありがとうございます。第2次総合計画と第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度進捗状況の報告がありました。この後、重点事業の見直しについて事務局から説明していただきまして、今回ご説明いただくもの直接でなくても委員の皆様からご意見をいただければと思ひます。ただいまの総合計画や総合戦略の進捗状況の関係でご質問・ご意見等をお受けしたいと思ひます。いかがでしょうか。

もし、ご質問等が出なければ、重点事業の見直しについて説明していただき、その後、もう少し幅広くご意見いただいた方がよいと思ひます。説明していただいたものそのものに質問するのはなかなか難しいと思ひます。次の重点事業の見直しについてご説明いただいた後に幅広くご意見を頂戴するような形でお願ひしたいと思ひます。それでは、議事3「第2次菊川市総合計画重点事業の見直しについて」ご説明をお願ひしいます。

≪事務局説明≫

【議事3 資料3-1・資料3-2・資料3-3・資料3-4】

会長： ありがとうございます。重点事業の見直しの関係で、特に重点プロジェクトでご意見やご質問があればお願ひしたいと思ひます。議事についてというより、皆さんの普段関わっておられる分野の中でご意見いただいて、事務局の方でそれは施策のこれとこれに関係するということで、説明していただくことが必要だと思ひます。議事そのものについてあれば勿論それは有難いですが、委員の皆さんから意見はいかがでしょう。

委員： 私は4年ぐらいこの会議に出させていただいております、ずっと思っているのが、実は菊川市って人が増えていて、良いところがいっぱいあるのにも関わらず、それが外の世界に全然出てこないというのが最大の問題だと私は思っています。その理由というのは、私も菊川の一部の人間なのでよく分かるのですが、ほぼ全員が菊川は何もないところだと繰り返し言っています。すごく自己肯定感が低いまちだと思ひます。本当はもっと素敵なまちだともっと言えば良いのにとずっと思っています。市役所の皆さんが、菊川は素晴らしい、菊川は好きだということを言い続けないと絶対に菊川市民は菊川が素敵なおところだと思えない。だから、市役所の皆さんは菊川市そのものだと思ひて、もっと菊川は素晴らしいと言わないといけないとずっと思っています。

す。市長は、天竜浜名湖鉄道の社長でいらっしゃったことがあり、苦しい鉄道を経営されてやはりこういうイメージとかファンを増やすことが大切だとすごく分かってらっしゃると思います。そのあたりどのように思っているかお聞きしたいです。

市長： ご質問ありがとうございます。天浜線時代には本当にいろいろとお世話になりました。いろいろな番組に使っていただきまして感謝申し上げます。今ちょうど資料 3-1 の説明があったかと思うのですが、住みたいまちの実現というのは、実は私が1月17日の市長選告示の辺りに、皆さんにリーフレットをお配りした5つのチャレンジの魅力の発信というところなんです。本当に菊川は良いところがいっぱいありますが、以外と知られていない、分かっていない、今言われたように何もないと自分で否定しています。本当はものすごく良いところがいっぱいあるのだからそれを全国に発信して、コロナの状況だからこそチャンスと捉えて移住・定住までいかないにしても、アフターコロナの時に交流人口として来ていただけるような状況ができないかなと思っています。魅力の発信、移住の促進の思いを込めて、一生懸命言わせていただいたところです。みんなが何もないと言ってはいけないです。茶畑一つ取ってもいっぱい良いところはあります。ただお茶の話になるとちょっと荒れているところもありますが、お茶も少し明るくなってきたという話もあります。さらに明るくしたいと思っておりますけど、そのように考えて一生懸命多くの人に知っていただくということで発信していきたいなと考えております。

委員： ここに載せられないような色々なアイデアがあると思いますので、そういうのを一つでも実行していただければ良いなと思います。

会長： ありがとうございます。行政の皆さんは緻密に分析してやってらっしゃいますが、実際、やるとなると知恵とかアイデアが重要で、しかもそこに市民の皆さんや外の方の連携が必要といった中で、ぜひ皆さんの中からお意見をいただきたいと思っております。先ほど市長から総合計画自体、社会情勢の変化の中で見直していく時期に来ているとありましたが、そういう意味では、今までご説明していただいたことをベースに皆さんが普段やっている中で、こういうことをやったらどうかとか、同じやるでもやり方があるとか、市民の力を借りてやった方が良いとかいろいろあると思います。その辺を特にいかがでしょうか。観光について、特にコロナの影響もあると思いますが、お考えのことがあればいかがでしょうか。

委員： 遠州ネットワークという5市1町の会議に出ると菊川市は本当に他の市に比べると海もない山もない、大きなお寺もない、お土産物屋もない、本当にないなづくしです。その辺が本当に気になっているのですが、私の関係している棚田では、酒米を今、鈴与さんと作っています。菊川には森本酒造さんという酒屋さんがいます。そこへ、菊川の棚田でも伊豆の一部の棚田みたいに、棚田で作ったお米でお酒を作りたいと相談に行きました。実は、菊川には観光資源がなくて困っている話をしたら、馬鹿

なことを言うな、森町を見てみろ、桔梗を植えれば桔梗を見に来る、萩を植えれば萩に見に来る、一つのを重点的にやれば、人は集まってくるよとそういう話をいただきました。森本酒造さんに発破をかけられて、なるほど、菊川にもそういうところ、小さなお寺でも良いから、神社でも良いですけども、そういうところを重点的にやっていったら多少は観光的な資源ができるかと思っています。本当に昔からの観光資源は、はっきり言ってないです。棚田へ皆さんたくさん来ていただいて、テレビ番組で火野正平さんの「にっぽん縦断こころ旅」も来てくれたものですから、だいた皆さん来てくれるようになりましたが、もう少し、皆さんがお金を使ってくれるような場所にしていきたいなと思っています。

会長： ありがとうございます。子どもの出生数については、コロナの関係で影響があったかと思いますが、そういった観点でいかがでしょうか。

委員： コロナの影響に関してですが、おそらく都会では相当出生数が減っていると思いますが、幸いにこの辺りは感染者が少なかったこともあり、産み控えということがそれほど多くはない気がします。全体的にずっと出生数は減ってきていますが、例えば患者さんが医院に行くのを控えるだとか、或いは産み控えてことは割と少なかったような気がします。それは、やはりこの辺の感染が少なかったのは一つ大きな影響だったと思います。あとは、やはり環境が良いので、お子さんを何人も産んでくださる方がとても多いです。今、菊川市の合計特殊出生率は1.66 ぐらいの数字だと思うのですが、3人目、4人目、5人目と産んでくださる方がとても多い地域だと思います。これは、おそらくいろいろな要因があるのですが、住む環境がとても良いとか、あるいは地域とか家庭で手伝ってくれる人が多い、夫婦で協力して子育てができるとても良い環境だからかと思っています。あと最近、コロナの影響で自宅での勤務が増えて、例えば里帰り分娩で面会ができない、この辺の方はご主人だけ面会できますと当院ではしていますが、里帰りの方は遠方からなので面会は控えてくださいと言うと、その面会のために2週間こちらに待機して感染していないから面会してくれる方もいらっしやいます。そういう自由なライフスタイルだとか仕事の状況が自由にできることが増えてきていると思うので、そういったことをチャンスにして、例えば職場は、首都圏だけれども、住むのは菊川って方が増えていくと良いなと思います。あとは、菊川市の方でやってくださっていることで、子どもに対する教育で、菊川のことを小学校、中学校で勉強してくださっていて、それは子どもたちにとって菊川が大好きになるすごく良いチャンスだなと思います。そういった教育を受けている子どもたちは、自分たちの菊川市の良いところをちゃんとわかっていて、菊川に対する愛情をすごく持っているんで、これはもっともっと深くやっていってくださると将来、菊川に戻ってくる子どもたちが多くなるのではないかと思います。

会長： ありがとうございます。ICT 関係について、コロナの関係で社会が変わっていますけどもそれに限らずお願いします。

委員： 2点お伺いしたいことがあります。1点目は資料2の進捗状況報告書、非常に細やかな分析と考察をされていると思います。私も大学生にデータ解析の授業をしていますので、そこで気になったのがマーケティングの分野です。重要業績評価指標の KPI だけを見るのではなくて、KPI がこうだからこそ最終的なゴール「KGI」、KPI がこうだから最終的に目標が達成されたかの指標を分析するべきだと常々学生に言っています。この分野ではもしかしたら KPI 止まりで良いのかもしれないのですが、こういった分析結果だったからこそ、最終的なゴールがどのぐらい達成されたかそこまで分析されると良いのではないかと感じました。同時に定量的な分析はばっちりされているのですが、定性的な分析はまだこれからなのかと感じまして、最近ではアンケート調査、実際に手書きで書いてもらったものをスキャナーで読み込むとデジタル化できたりしますからそういったものを分析されて定性的な観点で分析されるとまた見えていないことも見えてくるのではないかと感じました。それからもう1点は、私、牧之原市が実家ですけども、菊川市はすごく魅力がたくさんあるように感じています。おいしいものがたくさんあって、生どら焼きとか、かりんとう饅頭とかよく買いにくるのですが、ところどころにあるのですが、やはり話題性に欠けているのではないかと思います。最近 SNS の Facebook とか Twitter、LINE とか若者世代が使っていますけどもそういった中では突拍子もない話題になるものが、何か一つでもあると一気にそれを見てみんなが面白いね、やってみたいね、買ってみたいねという風に拡散していく傾向があるのでそういった話題性を調査していくともう少し魅力が外に発信されるのではと感じました。

会長： ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。KPI は出しているが、KGI はどうなっているか、総合計画と両方併せて説明を簡単にお願いできますか。

事務局： もともと目標を立てるといのは行政の分野では難しいなと話がありました。実は、先日会長とお話しをしたときに、最終的な目標と KPI の違いって何でしょうかという話も少しさせていただきました。特に戦略で言うと最終的な目標は人口に重きを置いているところがあります。これをやったから直結してこの人口かということまたそうでもないという話をさせていただきました。最終的な目標はどこで、KPI は中間でどこを目指しているか、単年度はどこを目指して、その先の目標もというお考えは十分、分かりますので、そういった評価の仕方はまた少し検討していきたいと考えております。

委員： 定性的な分析というより、こういった分野では特に定量的にした方がということなのでしょうね。

事務局： 現状の指標はありますので、重点事業を見直す中で指標の考え方も少し変えられると思います。そういったところで先生にご相談したいということでやらせていただけ

ればと思います。よろしくお願いします。

会長： ありがとうございます。まさにここの場が一種の定性的なところもありまして、皆さんから日頃の中でこうじゃないかと具体的な色々お話をいただいて、それが非常にたくさんいただくとまたそれがつながると思います。女性にとって魅力ある菊川、住みやすい菊川が大きなテーマになっていると思います。それに限らず何かあればお願いしたいと思います。

委員： 私は、菊川に生まれて菊川市でずっと育ってきていますので、菊川市のことが好きだということが元々あります。先ほど委員がおっしゃっていた学校教育の中で菊川市ってこんな良いところだよっていうのを小学校のうちから叩き込まれたじゃないですけど、色んな伝統を知ったり、こんなお茶の体験をしてきたからこそ、今もずっと菊川市が好きなんだというのを先ほどの話で感じました。キャスタードライバーをやっているときに菊川市の魅力をいっぱい発信したいと思って色んな方に取材してきたのですが、色んなお話しが出ていたり、なかなか市外の人たちが菊川市の魅力っていうのに気づいていないというのもあると思います。本当に小さいことって言ったら失礼ですけど、それぞれのところはすごく素敵ですが、大々的に何かっていうのが、何があるって言われると菊川市って何っていうのが言えないのですね。何もないのが良いみたいな、なんとなく菊川市が好きっていう感じで来ている感じがします。だから、すごい大きなものがどんとあれば、たくさん人が来たりするのではないかなと今、色んなお話しを聞いて感じました。住んでみて今0歳の子と2歳の子の子育てをしていて、子育て支援センターによく行くのですが、菊川も小笠もすごい居心地よくてそれぞれ素敵だと思います。すごく大きくて広くて、色んな人とも触れ合えてそこにいらっしゃる職員の方もすごい声を掛けてくれてその場はすごく良いですが、袋井市に住んでいた時は、家のすぐ近くに支援センターがありました。本当に小さいところで良いのでちょこちょこ支援センターがあったりだとか、駐車場も公園もたくさんあるのが魅力的なんですけど、昔からの公園だと小さい子が遊べるような遊具があまりなかったりとか、小笠の杏林堂近くの公園は、工事がずっとされていて、所々遊べないところがあったりとか、本当に子どもの目線からするともう少し身近に遊べる場所があると嬉しいなと思います。小学校とかの耐震工事をされている資料もありましたけども、通学路について、千葉県での事故もありましたけど、私は潮海寺ですが、潮海寺から学校行くまでも大体40分、50分ぐらいかけて歩いていきます。ちょっと危ないところが多いなと見てて思いますし、通っている子に聞くと、ちょっと怖いところが多いよと、歩道が草で塞がれていたり、そもそも車の通りが激しかったりとか、歩道がなかったりとかいうところが多いので、そういう本当にすぐ近くのものをもうちょっと変えてくれたら嬉しいなと思います。

会長： ありがとうございます。熱海でも土砂災害がありましたけど、季節的に水の問題がありますが、ご専門で何かありますか。

委員：これから雨がたくさん降って、雨量はだいたい毎年ほぼ同じですので、前半少なかったら後半まとめて降ると思えば良いと思います。それと去年はそんなに大きな雨はなかったのですが、その一年前が避難所を設置されたりと少し多かったですね。去年少なかったから大丈夫というのも間違っていて、雨が例年同じ程度降りますので、今まで少なかったら残りはどぼっと降る心配をした方が良いでしょう。熱海の土砂崩れがありますけども、最初に昼のニュースで見た時びっくりしました。あんなことも起きるのだと。色々調べたら原因は上流部の不法投棄か産廃かはわかりませんが、土砂を積んでその土砂がしっかり崩れ止めしていなかったからあんなことが、水が通ってしまったのではないかと。正確な原因わかりませんが、そういう予測はできると思います。菊川市にも同じようなところがあったとしたら、検討しないと大変なことになると思います。線状降水帯という言葉も最近良く聞きますが、たまたま菊川付近でそういう現象が起きないから良いのですけども、もし起きれば同じような事態が考えられます。小笠の岳洋地区が一昨年浸水したことも聞きましたけども、あそこは時々そういう状態です。ポンプ場と排水機場がありますけども、とても排水しきれないということです。ポンプ場を増やすか、川幅を広げるか、住宅を上げるか、それか堤防を上げるか何かしないと対策はできないと思います。

会長：ありがとうございます。特に小笠の内水の問題についてご指摘いただきありがとうございます。県外を回られてきて、菊川の事業所に戻られたということですが、菊川の印象についてどうでしょうか。

委員：私は色々と神奈川の小田原の工場や岩手県の滝沢市に勤務しておりました。この滝沢市は菊川市と防災協定を当社の縁で結んでいますが、実は菊川と似ているところとして人口すごく増えている市です。それは、盛岡市のベッドタウンというところで増えています。ただ何故増えているかというところで、それだけなのかなと、実際大学があるわけでもない、駅があるわけでもないというところで同じように増えているのですが、滝沢市も色々そういう部分で増えている要因を分析していると聞いていました。菊川市も、先ほど人口が増えている。増えているというか減っていないことを改めて教えていただきました。私が思うに、自論ではありますが、やはりなぜ人口が減っていくなかで、菊川市の人口が減っていかないことに対し、改めてここ最近転入された方々に意見を聞くってということも一つの情報なのかなと、なぜ菊川市さんを選んだのかということも分析するべきなのかなと一つ思っています。それから菊川市には何もないと言いながら、いろいろ考えていくと無いわけではないと思います。学校に行けば、常葉大学付属菊川中・高等学校がここにあるわけですから、常葉さんと協力して、大学誘致ではないですけども、何かできないかと思います。それから、昨今では名前を出して申し訳ないのですが、さわやかは、県内だけでなく、県外も含めて名前がすごく知れ渡っています。発祥の地ってどこですか、知っている人は菊川だと知っていると思いますが、もっとこういうところを色々コラボしてやっていけないかと

思います。民間企業の部分も利用するというか使える部分も使いながら、菊川をもっとアピールしていくことが、非常に必要ではないかと思います。方法として学校もあれば民間もあれば、ないないづくしではなくてきっと何かあると思いますので、そこを見つけて、民間も含めて協力することが、私は良いのではないかと考えています。

会 長： ありがとうございます。経済の視点などからいかがでしょうか。

委 員： 私は、今回初めてのものですから、難しいことはわかりませんが、今回見させていただいて、事業をすごくやられているなど驚きました。毎朝、新聞記事の地域の話題や経済のところを切り抜いて皆で回覧したりしているので、すごく色々なことをされていることに驚きました。当店でもふるさと未来塾で中学生のところに行かせていただいております、そこでは、ぜひ若い職員が行きますので、中学生に地元で働きたいと思ってもらえるような話をできれば良いなと思います。あと、支店の中に地方創生コーナーというものがあります。こちらもこれから若い新入行員を中心にアイデアで変えていくようなことをしていきたいと思っています。市役所にもいろいろ資料をもらったりお世話になります。個人的にはお茶がおいしいものですから今はできませんがコロナが終わったらお茶のサービスなんかを市の方と一緒にできたら良いなと思います。

会 長： ありがとうございます。続いて広域的な観点でお願いします。

委 員： 市長は県職時代、天浜線の社長時代から手抜きをなさらない方なので、事前に資料をいただいたので、みっちり読ませていただいて楽しかったです。事細かにはいろいろありますが、全体だけで言わせていただきます。一つは評価、先ほどの説明ですと、政策はまずまずの評価ですが、施策の方はコロナの影響を受けたことが全体のポイントだったと思います。資料 1-1 の 2 ページを見たときに市民に分かりやすい計画づくりと書いてくださってあります。その時に、先ほど述べられたコメントをやはり文字に起こして、令和 2 年度の評価ですので、新型コロナの影響がないわけではありません。実は、今言っているのは市行革懇話会の坂本先生が同じことをおっしゃったと思います。行革懇話会の中で確か、コロナの影響についてというワンペーパーをお作りになっているかと思います。やはりあれがすごく市民の方々に政策的に、方向的に間違っていないけれどもコロナでこれだけ影響があったということが、しっかりと評価書の中に文字として残るようにしておいた方が、まさにそれが市民に分かりやすいということではないかと思いました。実は、他市の審議会に行っても同じことを言っていて、百年なのか千年のなか分かりませんが、こんなに未曾有の年っていないと思います。それをしっかり市民の方々に残しておくものが、一つの行政としての仕事なのかと思いました。他にも事細かにいっぱいありますが、全体として今日は評価ということなので、その部分を申し上げます。



会 長： ありがとうございます。続いてお願いします。

委 員： 今日会議ということで、本当に申し訳ないのですが、今まであまり見たことがなかったのですが、改めて総合計画を見させていただきました。その中に菊川市の特徴、強みというところがありますよね。そこに菊川市のことがいろいろ書いてあるのですが、皆さん菊川市はないないづくしだと言うのですが、ここにはいっぱい書いてありますよね。だからこれをもっと発信するというか、今、委員が言われましたが、難しい施策はともかくとして、菊川の魅力ってこんなにあるのだよと、それだけでも一つ菊川市が住みやすいまちになるのではないかと思います。それで、そうした中に、こういう文言がありました。社会福祉法人の活動が活発、高齢者や社会支援施策が充実とありました。本当に見ている人は見ているのだと、私どもの仕事ですけど、評価していただいているのは大変ありがたいです。基本目標2の中の施策にも高齢者とか障がい者とかありまして、いろいろな施策をやっていただいているということで、本当にありがとうございます。今後も引き続きご支援等よろしくをお願いします。そうした中で、一つ今年度重点プロジェクトを見直す中で、コロナつながりではないですが、今、コロナの影響でリモートとかやっていますが、私どもの仕事はリモートではできません。マンツーマン、まさに人と人ということです。それでコロナの影響で離職とかリストラとかいろいろありますよね。私どもの方も職員が足りないということで、募集はしていますが、なかなか応募がない。そういう状況です。本当に人がいないと仕事というか事業が成り立ちません。それである施設では、職員がいないことにより定員割れ、利用者を受け入れることができない事態も生じています。市を挙げてという大げさかもしれませんが、福祉の現場、介護の現場にも人が来れるように、私どもも仕事の魅力づくりには取り組んでまいりますけども、皆さんのお力添えもぜひいただきたいと思います。よろしく願いいたします。いろいろありますが、今日はこれだけにしておきます。

会 長： ありがとうございます。

委 員： 私は、前市長から、菊川市を日本一スポーツの盛んなまちにするという公言の中でいろいろ活動してきました、一昨年までは菊川市全体をターゲットにして大会あるいは教室というような活動をしてきました。昨年はコロナが流行りだしたということで全ての活動を中止せざるを得なかった。今年はなんとかいくつかの行事はやってきましたが、昨今の掛川、菊川、御前崎市のコロナの感染が拡大中ということで、また中止せざるを得なくなった状況です。周りを見まして、定期的に掛川市と御前崎市の三役会議をやっていますが、御前崎市は同じようにできることを少し細々ながらというところで、掛川市は元々大きく地区というものがなかったものですから全体的にスポーツ教室をやっているところであります。じゃあどのような活動ができるかというところで、私個人的に意見ですが、コロナはやはりなくならないと思います。インフルエンザも流行りだして何十年になるかわかりませんがやはり同じような状態だったか

と思います。ウイルスも拡大しつつ、変異を続けながら、ワクチンを作ったり、治療薬を作ったりということで、至っているのではないかと思います。幸いスポーツを通じて感染ということは今までありませんが、大丈夫という安易な考え方はできないと思います。やはり、そういうところを考えながら、参加者だとか、委員の安全も考えながら活動していかなければならないと思います。市全体と言うと人が集まってしまいますので、これからは地区あるいは自治会、小さい単位で我々も出前という形で教室みたいな活動が中心になるのではないかと個人的には感じています。それともう一つ問題ですが、委員の成り手がいない。これはコロナの前からですが、やはり以前は私、20年ぐらいやっていますが、昔は本当に熱い方が多かったです。各地区でリーダー的な存在が多く色々しゃべりながら夜な夜な酒を交わしながらということも多かったです。最近は本当に淡泊です。活動も出る方が非常に少なくなりました。委員の成り手もないところにコロナに追い打ちをかけられてますます人が集まらない状況になってきましたので、そういうところは大きな課題かと思っています。

会 長： ありがとうございます。

委 員： 感想になりますけど、まず一つ目は人口動態で、市長もお話しされましたけど、推計よりも多くなったことにびっくりしました。何年か前に、これから人口が段々減っていく推計なので、これを上回るように、市の方でも色々な政策や施策を立ててやった結果の努力の賜物だと思いながら、新聞を見たときに少し嬉しくなって菊川市が袋井市に次いで2位だということで、記事を切り取った覚えがあります。その原因は、一つではないと思います。7、8年前に御前崎市に勤めていたときがあり、その時に、石破大臣が地方創生として地区で子どもを育てなければということで、地区で話をさせてもらえる機会を持ち、子どもの見守りや声掛けをお願いしますという話をした覚えがあります。御前崎市は、行政の方も色々考えていらっしゃるってお金もあるものですから、支援もすごいわけですが、そうかといって御前崎市は人口が増えているかというとなかなか厳しい状況であるので行政の施策ばかりではなく、環境もあるし、色々なものがかみ合って今の結果が出ているのかなと思いました。子どもの話ですが、ふるさと志向力というものを市でもやっていただいている、子どもたちに菊川の魅力を教えるわけではないですが、こんなに良いところがあるという話をする機会がたくさんあります。子どもたちに菊川市は何が魅力かって言うと必ず最初にお茶、それから自然がいっぱいで良いと言います。でもなかなか良いところであるお茶が厳しい状況にある中、どのようにしてこれから生き抜く子どもたちが、それを強みにしていくかを学校で教育というかそういう力をつけていくわけですが、そのところをこれからやっていけないといけないと思います。それから Society5.0 というようなことが言われていまして、情報化社会で ICT の環境も菊川市の場合、学校の整備をすごくしていただいています。この辺の地区でも飛び抜けてではありませんが、率先していただいています。その環境に見合うような教育ができるような環境、設備だけでなく、やはり人間も環境なので、教師であったり回りの大人だったりの教育環境を整備する

必要があるのかなと思います。Society5.0、人間中心の社会になり、色々なICTを使っている環境が出来てきますが、そこをぜひみんなで進めていかなければならないと思います。私もこの評価シートを見せていただくと市民アンケートの中でこの施策は重要だとかいろんなことが書いてありますが、教育と災害のところが重要だというパーセンテージが多かったです。ぜひ子ども、そしてこれから生きる人のために市の方でも色々やっていただければと思います。

会 長： ありがとうございます。

委 員： 今、委員から子どもが思う菊川市の良いところはお茶だと、そういう話を受けて、非常に励みになります。ありがとうございます。私もこうやってお茶を一筋35年やってきましたけども、それと同時に気が付いたら子どもに、小学校3年生を対象に、お茶の勉強、お茶を手で揉む勉強を教えていました。家に入ってから先輩方に誘われるがまま小笠の手揉み保存会に入りまして、そこでそういう活動をしております。小笠の3校は必ず一年に一回は行くようになっておりまして、手摘み、手で摘むことから、お茶を手で揉むことから、お茶の淹れ方、お茶の品種を当てる、闘茶と言いますが、そういったことを、小学校3年生を対象に勉強を教えています。そうした中で、子どもたちがいつか大人になった時にその経験が頭の片隅にあって、また菊川市が良いところだなということにつながればそんなに嬉しいことはないと思っています。手揉み保存会のことは市長もご存じかと思いますが、知事との話し合いでも話しましたが、お茶をこれから情報発信していくには、やはり、県内、国内だけでなく、海外にもどんどん言っていけないと遅れていってしまいますので、そういった手揉みのお茶を台湾の方に輸出する話もしています。今回コロナの影響で全く行くことができなくなってしまいましたので、そういった向こうでのイベントの参加もできなくなってしまいましたので、とにかく情報発信、海外に向けて色々やっている最中でしたけども、これからはまたそういうことに力を入れて菊川市の良いまちだということを情報発信していきたいと考えております。

会 長： ありがとうございます。

副 会 長： 今回初めて参加させていただきました。少し耳の痛いことを申し上げますが、一言で申し上げて資料が多いと私は受け取った時に即思いついて、全部目を通してなかなか読み切れない。専門分野を中心という断り書きがございましたが、それにしても多いなど。審議会というのは年に数回、しかも、時間も限られていますので、総合計画ですので項目が多いのはやむを得ないと思いますが、審議の仕方としてかなり工夫していただいても良いのではないかなと思います。色々な審議会の経験がありますけども、設営する側の経験も、委員としての経験もあります。ちょっとこういう項目を全部読んで、意見をというのなかなかちょっと厳しいかなと思いますので、ぜひご検討いただければと思います。それから、自治会とコミュニティの関係だけ一点、

いくつか感じているところはいっぱいあるのですが、時間もありませんので一点だけ。今コミュニティ活動はコロナ禍の中で、縮小あるいは中止を余儀なくされております。ただ、コミュニティの役員を中心にしていずれまたコミュニティの活動を復活させなければならないという思いを皆さん持っております。ただ、それぞれの地区でコミュニティ協議会があってそのコミ協の中で話し合いをしておりますが、コミ協には、自治会のように連合体がありません。こちらの2階の市民協働センターで年に一回お互いの情報交換会を行っていただいておりますが、年に一回の情報交換ではやはり十分な情報交換ができないのではないかなと思っております。もう少しいろいろな地区のコミ協同士の情報交換の場をもう少し密に持つようにできたら良いなとこの頃思っております。

会 長： ありがとうございます。少し時間が超過しております。本当は全体では4、5人ぐ  
らいの意見をいただくつもりでございましたが、伺いでしたら、ぜひ皆さんに聞きたく  
なってしまったということで、時間を超過しまして申し訳ございません。ただやはり、  
こうやって皆さんからご意見をいただきますと私も勉強になりまして、市にとっても、  
いただいたことが次につながると思います。次回はこの審議会に重点事業の話が来る  
と伺っております。またご検討いただきたいのは、重点事業をどうするか自体は市の  
方でお考えになって、寧ろそれをどうやって効果的に進めるかについて、市民の皆様  
のご協力やお知恵、外との関係とかどうしたらもっと上手くいくかというお知恵、も  
っとこうの方が良いということのお知恵をいただくと実は一番助かるのかなと思  
っております。事業がこれで良いか、重点事業はある程度庁内で出てきたら、今回副  
会長からもありましたが、細かい資料をどぼっとというよりポイントが分かる大まか  
なもの良いので、それについて皆さんからアイデアを頂戴できれば有難いと思  
います。これは市の方でまたご検討ください。市長から一言おっしゃりたいことはあり  
ますでしょうか。

市 長： 色々な貴重なご意見ありがとうございます。副会長が言われたとおり資料が多い  
というのは本当に申し訳ございませんでした。作成する中で、担当も色々考え、分か  
りやすいように資料も作ってもらったりしたのですが、申し訳ございませんでした。  
それから、いくつかお話しいただいた部分でしっかりと受け止めないといけないかな  
という中で述べさせていただきます。今気になったところが、委員が言っていたい  
たさわやかであったり、常葉大菊川高校であったりとかそんな話がありました。私も  
その辺思ったところでありましてさわやかの社長のところに行き、実際ふるさと納税  
でさわやかを使ったりとかして上手くやっていた時もありますが、ふるさと納税はル  
ールあったりとかする中で今はなかなか使いにくいところがあります。やはり第一店  
舗目が菊川にあることは、菊川の方は知っていますが、今後お付き合いの中で上手く  
できないかなと思ってます。やはり、菊川を市外の方に分かっていただくきっかけ  
になったのは、常葉菊川が野球であれだけ活躍されているからということを知ります。  
木宮理事長にお会いしてそういった話もさせていただきたいと今後思っているところ

です。あと SNS の発信ということでお話しがありました。私も鉄道会社ですごく感じ取ってしまっていて、広報をかなり毎日発信してしまっていて Facebook、Twitter それからインスタグラム、いろんなもので発信していますが、どうしても行政は内容が固いです。観光協会や茶業協会だとか、色んな方が色んな発信をさせていただいております。私も個人的にやらせていただいております。いろいろこれも話題になれば良いなと思っているところです。それから盛土の話が出ました。県の方で同じような盛り土がないかということ今月中に色々調査しているということで、菊川でもあってはならない災害だと思いますので、調査をするということです。副会長から言われたコミュニティの関係は、祭りが二年間中止になる、夜店市が二年間中止になるという状況の中ではやはりコミュニティの継続がなかなか厳しい部分もあるのかなと思います。逆に言うとお祭りがなくて良いと言っている方もいるとしたら、やはりそういった意味ではどうして続けていくことが必要であり、続けないとやはり有事の時、災害の時のコミュニティは大事だと思っています。それについても色々とかえをお願いしようかと色んなところをお願いしているところです。あとお茶の話です。やはり、菊川で言えばお茶ということで、お茶の発信です。関口隆吉さんや棚田の話があったり、輸出の関係ではレンガ倉庫があったり、特に美味しいお茶が実際あり、美味しいお茶に合う、先ほど出た、かりんとう饅頭であるとかそういうお菓子もある中でこの菊川の魅力を色んな形で発信できればなと思ったところです。雑駁ですけど、皆様の今日の意見を参考にまたぜひ進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

会 長： ありがとうございます。それでは議事を終了しますので、連絡事項を事務局からお願ひします。

事 務 局： 大変熱心なご審議をいただきありがとうございました。それでは、事務局から連絡事項がございます。

## 7 その他（連絡事項）

## 8 閉会

事 務 局： 最後に副会長より閉会のご挨拶をお願いいたします。

副 会 長： 先ほど申し上げたとおり審議会という、細かなところをあまり見るなということではありませんが、大きなところから方向性を皆さんで検討していくところが一番大きなポイントではないかと思ひます。ただ一方で抽象的な言葉だけいくら議論していても結局それは何も結果を生まないと思ひます。空論のような形になろうかと思ひますので、大変そこは難しいところです。細かな具体的なところの積み重ねがあつて初めて色々なものが動いていくということは皆さんご存じかと思ひます。難しいところで

はありますが、これからも皆さんで知恵を出し合いながら、市民協働というのはその分野だけの話ではなく、行政が一方的にサービスを提供し、市民がサービスを受けるという送り手と受け手という単純な構造ではもうないというのはだいぶ前から分かり切っていることです。ぜひ、お互いに主体性を持って取り組んでいく、それが菊川市をより良いまちにしていくということであろうと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。